

# 第 89 回宮崎大学眼科研究会

日本眼科学会専門医制度生涯教育認定事業 (59046)

- ◆日 時：令和 4 年 1 月 22 日 (土) 16:00～18:50
- ◆会 場：宮崎 KITEN ビル 8F 大会議室  
〒880-0811 宮崎市錦町 1-10 TEL：0985-78-5810
- ◆会 費：2,000 円
- ◆開催形式：Web 開催 (ZOOM) または現地視聴  
— 日本眼科学会専門医制度登録証 (カード) を必ずご持参ください。—

Web で御参加の場合は事前登録が必要となります。[daiki.nakamura.ext@bayer.com](mailto:daiki.nakamura.ext@bayer.com) までメールをお送りください。ご連絡いただいたメールアドレスに Web 講演会の事前登録案内を送付致します。

こちらの 2 次元バーコードからもご登録頂けます→

～ プログラム ～



## 一般講演

16:00～17:40

座長 宮崎大学眼科 医局長 杉田 直大

- 1 「緑内障が疑われた Leber 遺伝性視神経症の 1 例」  
○廣瀬英里香、日高貴子、中馬秀樹、池田康博 —宮崎大学眼科—
- 2 「血液透析開始後に発症したビタミン A 欠乏性夜盲の 1 例」  
○下河祐太、石合理崇、橋本直樹、池田康博 —宮崎大学眼科—
- 3 「過去 10 年間に当院を受診した HTLV-1 関連ぶどう膜炎患者 36 例の検討」  
○外山直樹、森真喜子、池田康博 —宮崎大学眼科—
- 4 「涙腺原発の導管腺癌の 1 例」  
○菅井洸<sup>1)</sup>、中馬秀樹<sup>1)</sup>、梶原夏輝<sup>1)</sup>、森真喜子<sup>1)</sup>、木脇拓道<sup>2)</sup>、池田康博<sup>1)</sup>  
—宮崎大学眼科<sup>1)</sup> 宮崎大学<sup>2)</sup>—
- 5 「再発悪性リンパ腫により眼窩先端症候群をきたした 1 例」  
○松元寛樹、山添早織 —県立日南病院—
- 6 「ANCA 関連血管炎患者の眼底所見について」  
○中山恵介、馬渡夏子 —県立宮崎病院—

座長 宮崎大学眼科 准教授 中馬 秀樹

- 7 「シリコンオイル注入眼に対する皮膚電極を用いた ERG の検討」  
○尾崎公威<sup>1)</sup>、吉川祐司<sup>2)</sup>、篠田啓<sup>2)</sup> —尾崎眼科<sup>1)</sup> 埼玉医科大学<sup>2)</sup>—
- 8 「自施設患者に適切な機械学習による眼内レンズ度数計算の試み」  
○高橋重文、徳田祥太、森洋齊、南慶一郎、子島良平、宮田和典、  
山内知房、田淵仁志 —宮田眼科病院—
- 9 「深層学習を用いた円錐角膜の進行予測能の検討」  
○子島良平、森洋齊、宮田和典 —宮田眼科病院—  
神谷和孝 (北里大学・医療衛生学部)、加藤雄大 (クレスコ)、宮井尊史 (東京大学)
- 10 「原田病急性期の毛様体・前部脈絡膜の所見—UBM, AS-OCT, 水浸 B モードによる観察」  
○柘山 剌 —柘山医院 眼科耳鼻咽喉科—

特別講演

17:50～18:50

座長 宮崎大学眼科 教授 池田 康博

『加齢黄斑変性患者の視力を守るための治療方針』

大津赤十字病院 眼科部長 山城 健児 先生

※コロナ感染拡大防止対策を取らせて頂いております。(ソーシャルディスタンスを考慮した配置)  
アルコール消毒・マスク着用の御協力何卒宜しくお願い致します。

共催：宮崎大学眼科研究会・バイエル薬品株式会社・参天製薬株式会社

特別講演 I 17:50～18:50

『加齢黄斑変性患者の視力を守るための治療方針』

大津赤十字病院 眼科部長 山城 健児 先生

加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 治療が承認されてから 10 年以上が経過した。この 10 年以上の期間に薬剤の種類も徐々に増え、治療レジメンにも様々な工夫がなされてきた。しかし、どの薬剤を選択して、どのレジメンで治療を進めていくのかについては医師の裁量に任されており、担当医師の知識や経験によって治療結果に差が出るのが問題になり始めている。特に最近になって新たな抗 VEGF 薬が開発されて治療薬の選択肢が広がり、同時にパキコロイドという新たな疾患概念が普及してきたことによって、加齢黄斑変性診療を担当する医師に求められる知識も増えてきた。また、最近の遺伝子研究によってパキコロイド系の黄斑変性については個別化医療まで現実的なものとなってきた。本講演では加齢黄斑変性診療に必要な基礎知識をまとめたうえで、現時点で知っておくべき最新の知見まで説明したい。